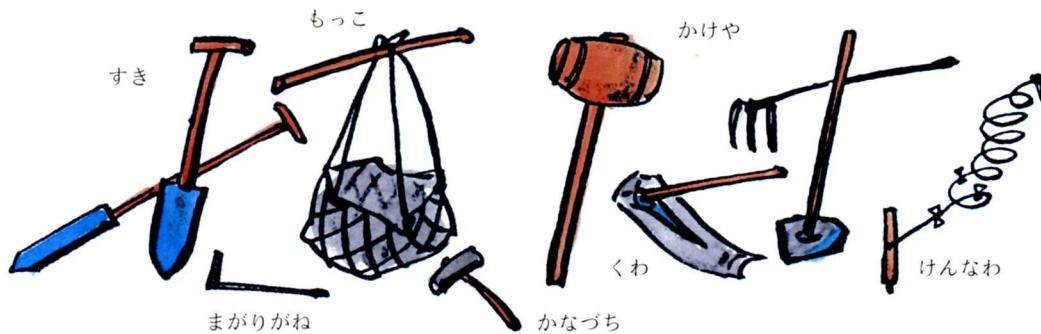




湖水は、かんがい用として下流の荒れ地に注ぐ新田を開発し、新田の収益は藩校立教館の経営の資金にあてられ学田新田と称している。総石高177石余り（約26,550kg）面積53町歩余り（約53ha）の新田で城下の町人3人が請負い開発した。



千世のつつみ

6m	(120間) 約216m
14m	